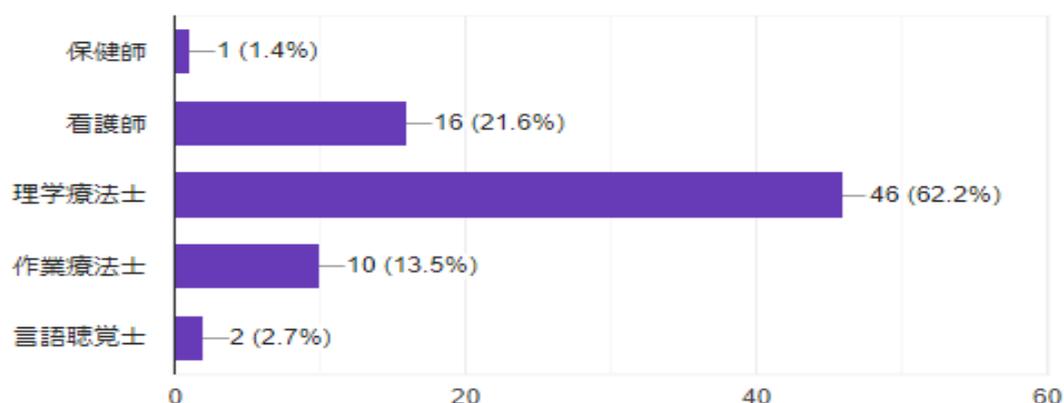


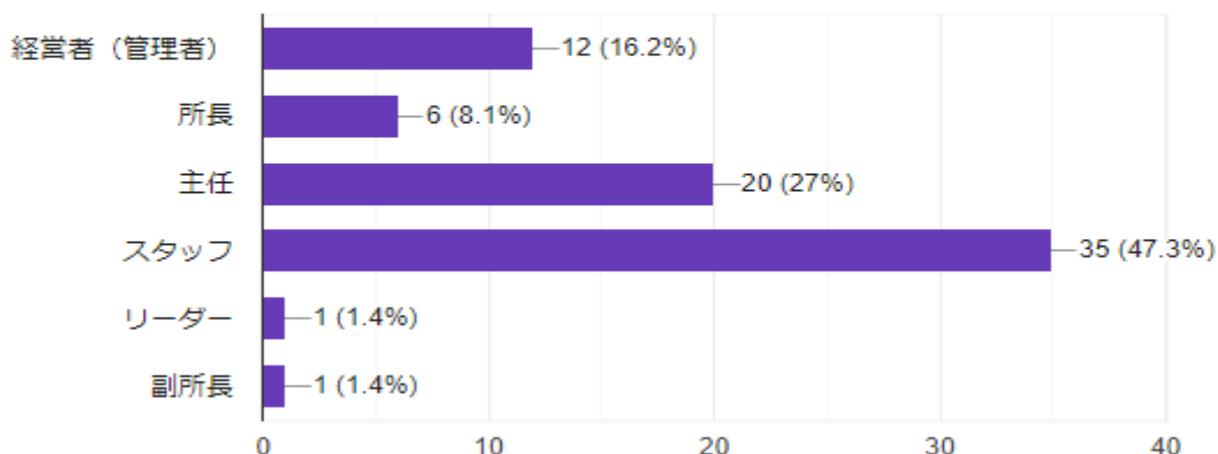
1) あなたの職種をお答えください

74 件の回答



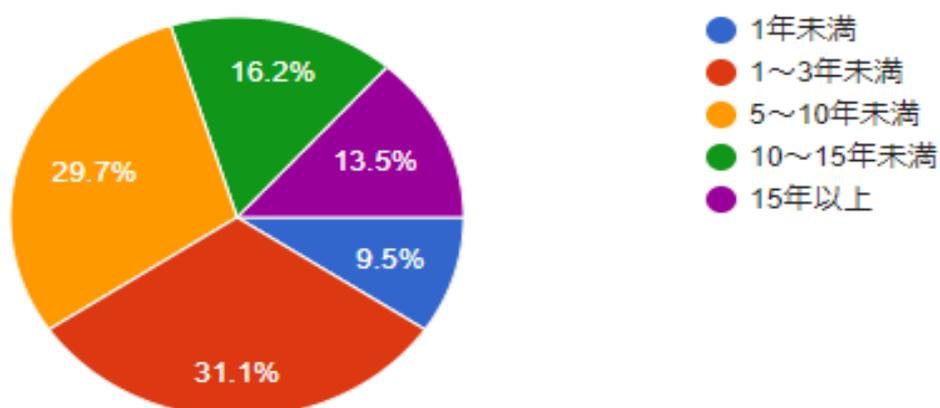
2) 役職

74 件の回答

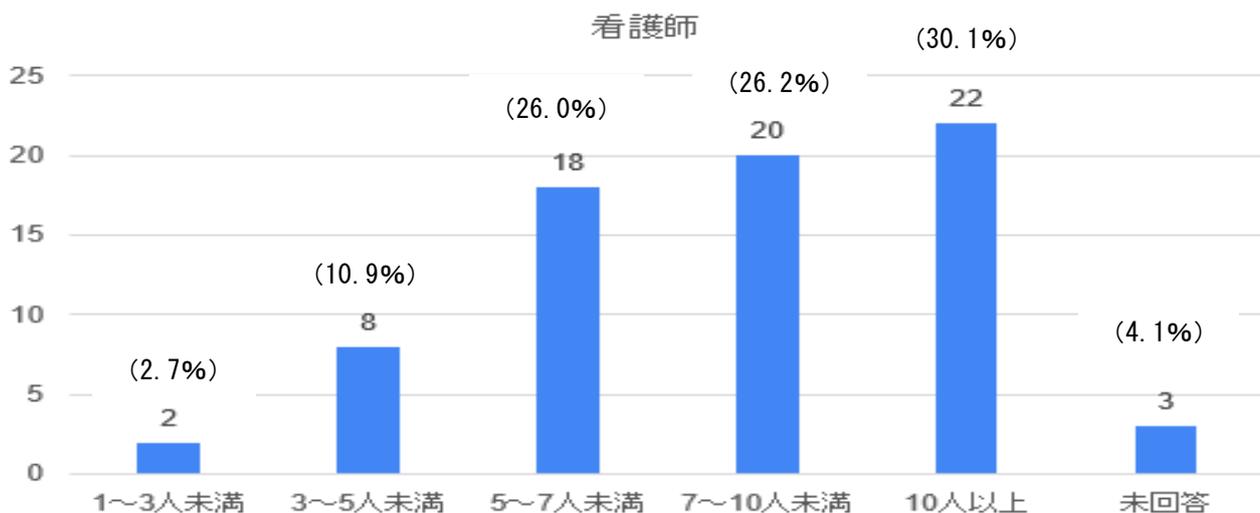


3) 訪問看護ステーションにて従事年数

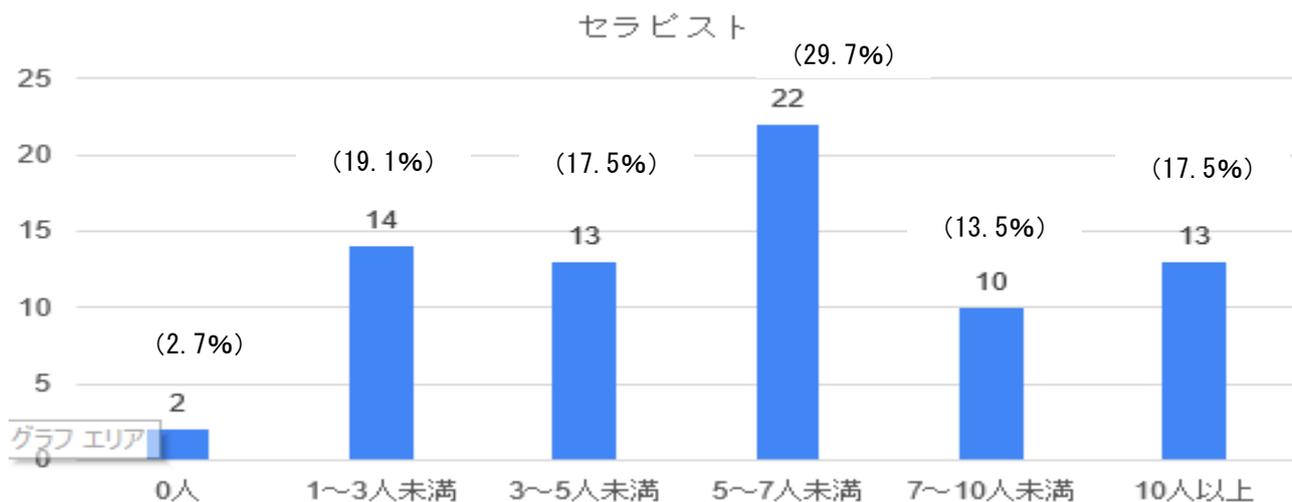
74 件の回答



4) 所属先の看護師数 73 件の回答

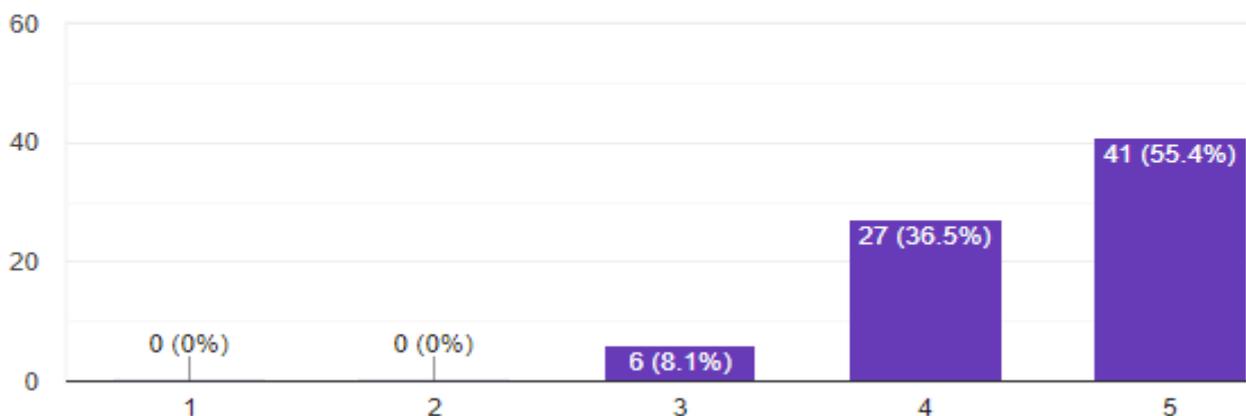


5) 所属先の療法士数 74 件の回答



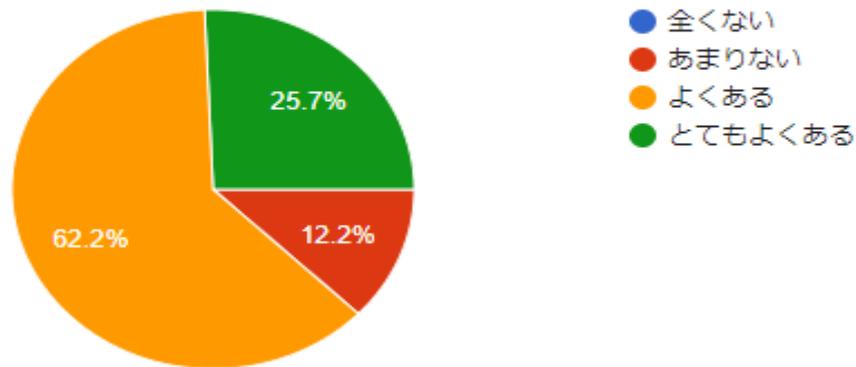
6) 今回の交流会の評価をお聞かせください

74 件の回答



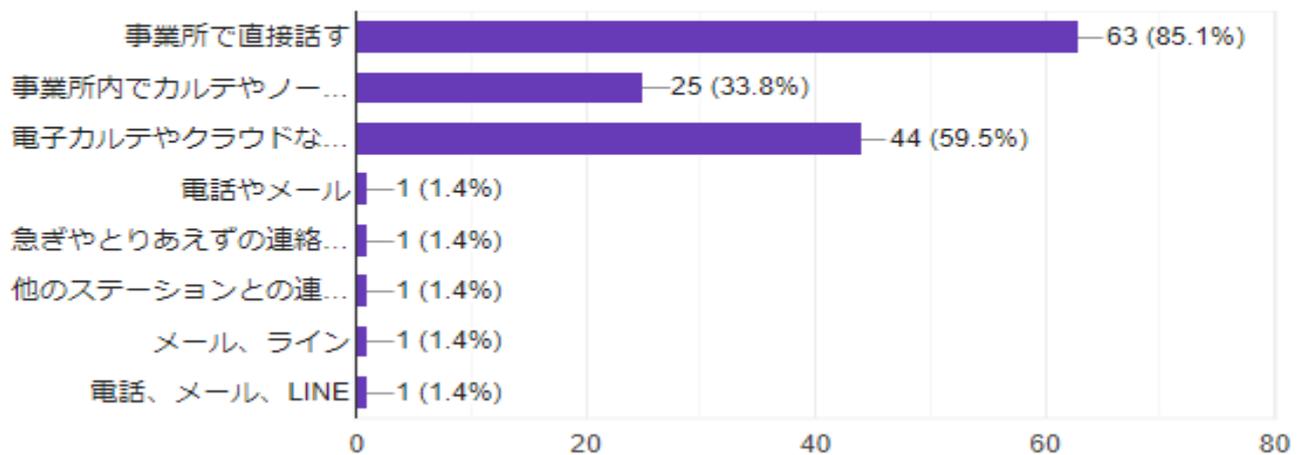
7) 看護師とセラピストとの情報共有する機会ほどの程度ありますか。

74 件の回答



8) リハと看護の連携や情報共有はどのようにおこなっていますか？

74 件の回答



9) 看護師・セラピスト間で連携をよりよくするために取り組んでいることを教えてください
(今日の話聞き、取り入れたいことでも可)

同じ目標を持つこと

なんでも報告する

朝礼

挨拶

夕礼を取り込んでみたい

事務所に集まる場面でもっと皆で話をしていく

その人のプライベートな話を聞く時間をつくる

会話、メール

利用者への同行

普段からの会話、明るく会話するための雰囲気作り

他のステーションとの連携についてももう少し知りたかったと思います。

カンファレンス、ハウレンソウの強化

いい雰囲気作りのために雑談をする

ターミナル期の方を最後までかかわるために Dr へアプローチを nrs からもしてもらう。

週 1 回の合同ミーティング

担当者の情報はその日のうちに報告し合う

できるだけ難しい専門用語は使わない

毎月 1 事例一緒に症例検討をしている。

夕礼の実施

Zoom を使って連絡しています。

個人的な月間目標の発表などスピーチ

事務所の雰囲気を良くして気軽に話せる空気を作る。

フリーデスクにすることで看護師さんとの会話が増えると感じました。

出来るだけ対面の時間を取る

対話

自分が担当している利用者の方の看護場面の見学

何でも話せる事業所風土

直接会えなくても情報共有できるツール

世間話をする機会を 10 分でもいいから作る

カンファレンスの実施

SNS を使用した連携 (LINE、MCS)

事務所での共有ノート

小さな事でも報告する

勤務内容以外の話を積極的に行う。

お互いを認め合うことです。

今日の話聞き「ほっこり話」を取り入れたい

もっと話し合いたい。目標の見える化

夕礼にて利用者さんの紹介

ケース検討を定期的で開催したいと思います

看護師訪問に同行させてもらえる機会があればいいなと思いました。

昼休みや業務終了後で話しをする

直接話すこと

MCS などのツールを使用

何か伝えたいことがあった時はすぐに電話やメールで連絡し、情報共有している。

ラインワークスの活用、定期カンファレンス

日常的に会話を多く行う。雰囲気作りを大切にする。共通の目標に、迎えるよう情報共有をしっかりと行う

すぐに連携しあえる環境なのですが、小さな事でも自分から話しかける事を気を付けています。

MCS

直接話をする事、メールや LINE、電話で相談すること、その人となりを知ることで連携している。

看護師はセラピストの目線、セラピストは看護師の目線を持てるように勉強会を開くようにしている。

日頃からのコミュニケーション
事業者内カンファレンスを行う
全員で毎日朝礼をして情報共有しています。
ほっこり話
看護師とリハビリが連携しやすいように、話しやすい環境にすることが大事だと思いました。フリーデスクは職場によっては難しいかもしれませんが、朝礼スピーチなど、その人の事を知れる機会になるので良いと思いました。
まずは少しの自己開示ということで、職員同士を知るところから意識されているところが多いのがよく分かりました。何かしらの形を取り入れたいと思います。
ステーションにてなるべく寄るようにして、些細なことでも話す機会を作るようにしている。
仕事以外でも会話があると仕事上でもコミュニケーションとりやすい。非常勤のスタッフにも意識して声かける。
ランチョンミーティングは取り入れたいと思いました。
スタッフの得意分野やそれぞれの仕事範囲を知ることで、相談しやすくなる
カルテを開けなくても、アイパッドの掲示板的なもので、すぐに共有できる。コロナ禍で雑談はしにくい状況。基本的な挨拶は積極的に行う。
普段から仕事以外の話などでもコミュニケーションをとる
ほっこり話しをしていきたい。
利用者様宅に月間スケジュール（カレンダー）を置いてそこに受診の予定や訪問時の様子やちょっとした変化を書き込む。他事業所の方や Dr.とも共有できる。
同じ利用者についての話をする、セラピストが関わっていない利用者の話を聞く
普段から会話をよくして、話しやすい雰囲気作りを心がける
話しやすい雰囲気作り
朝礼など

10)協働(連携)する上で困っていることを教えてください
朝礼以外、なかなか直接会う時間が少ない
タイムリーに出来ない
お互いの専門性の理解
忙しい他スタッフと時間を共有する具体的な工夫
すれ違い、時間が合わない
非常勤との連絡にタイムラグが出やすい
時間の共有
特になし
非常勤だと顔を合わす機会が少ないので、タイムラグが生じる
口頭伝達なので漏れがあること
コロナで直接会えない。
他事業所との連携をもっと取りたい
コロナ禍で事務所に戻る回数が少ないため対面して話し合うことが少ない。
直接話をしたい時にいない時です。
お互い専門職ゆえの方向性の違い、衝突
職種での視点が違うので目標の統一が行いにくい時がある
全員一斉に揃うことの難しさ

みんなカツカツで訪問あったり、ママが多くて残業できなかつたり、時間が合わせづらい

カンファレンスを行う時間作り

コロナ対策の直行直帰によって、事務所に集まることが少ない

とても楽しく、連携をとりながら業務にあたらせていただいています。社内だけでなく、社外にも向けた連携の重要性を改めて感じています。

コロナで話す機会がすくない。

スタッフによって、連携を「しっかりする方」と「あまりしない方」がいらっしゃる。

セラピストが非常勤のためステーション内にいることがほとんどない。

訪問スケジュールにより希望の訪問時間や曜日に対応できない事がある事。

話す内容が多すぎて、他の業務に影響がある。申し送る内容が曖昧で円滑に話し合えない場合がある。

MCS などを使用しているが、休みの日まで連絡が来ることが困っている

看護師さんの専門的な薬や疾患などの略語が分からないことがある。

リハでの可能性と看護的なリスクの線引きが難しい事がある

特にないです。

互いが訪問中だとすぐに連携できない

なかなか会えない時がある。

他事業所との連携方法

SNS でのやり取りは時間が自由なため、どんな時でも連絡がある。利用者さんのためには良いが...

コロナにより勉強会がなくなり知識の共有が難しくなっている。

物理的な制約(時間等)

連携する頻度や時間の取り決め

顔を合わせる時間の確保。

非常勤（週一回）の方と、会う機会が少なく、連携が難しい。

看護師の専門用語が分かりにくい。

看護師さんのケアの視点の理解が乏しいこと

コロナ禍もあり ICT の業務連絡が中心となり、詳しく話す機会が少ない

今は時間。時期的なこともある。今は訪問件数が多い。

直接顔を合わず機会や時間が少ない

情報共有の大切さを感じていないセラピストもいる。

看護師と共通の目標がたてられていない。診る視点と見る視点の違い。

ゆっくり話をする時間が取れない

スケジュール的にすれ違いが多くなると、方法を工夫していてもタイムラグが生じる

コミュニケーションはよく図るが、話し合うだけで終わってしまうことが多い。

利用者さんが体調が悪くなって、しばらくしてからのリハビリ再開時のリハビリ視点での身体機能や廃用、ADL 状況の変化が捉えにくい

11) リハビリ対策部会で、今後取り上げて欲しいテーマをお知らせください

多職種連携(チーム医療)

今回のような、他職種連携のケース発表

ターミナルのケア

ステーション内での研修会の持ち方

連携

ケアマネとの連携

呼吸療法

他事業との連携について

リハビリの評価について

支援利用者や訪問リハビリの終了時期設定など

ターミナルでの関わり

地域の横の繋がりをどうしているか

介入困難事例の工夫やアプローチで他の訪問看護さんがどんな取り組みをされているか。

新人指導

今回すごく面白かったです。でも時間が足りなかったので同じシリーズもまたお願いしたいです。

目的、目標を持ったプランで卒業、自立に向けたリハビリの提供。

医療とのスムーズな連携の方法

小児の連携

訪問看護ステーション勤務のリハビリ職種の地位確立のために具体的な対応策

カンファレンスの実施方法や頻度

感染症対策とスタッフのメンタルケアについて

訪問看護ならではのリハビリの効果の検証ができる事例を聞きたいです。

ターミナル患者への対応

連携についてさらに深めていきたいので第二弾をよろしくお願いします

事例検討や ST や OT がいない職場なので、PT でも出来る事など、教えてもらえる機会などがあると嬉しいです。

看護・リハの人員割合について

利用者獲得のためにどのようなアプローチをしているか

離職防止への試み、メンタルケア

他ステーションとの連携

症例の困ったことなど

他職種の強みを活かした在宅看護の方法

クレーム対応等のケア以外のトラブル対処

今回のグループワークのような座談会は大変聞きやすく参考になりました。

効果判定をどのように行っているか具体的な事例紹介、また比較的軽症の方でデイや社会活動に以降したケース紹介などを行っていただけるとありがたいです。

症例検討 特に癌末期や難病。

ケアマネジャーとの関わり方

事例紹介、事務所間の連携の取り方など

リスク管理の方法、災害時の対策、リハビリ職の医師との連携、介護報酬改定に伴ってリハビリの指示書の疑問など

制度に関する事

効果的な計画書の書き方。

ポジショニング、環境設定へのアドバイスなど

訪問時に限られた資源のかなで行うリハビリ内容(呼吸、ターミナルなど)